

# 9月は防災月間 暮らしの中に

地震や津波は、ある日突然やってきます。「そのとき」が来る前に、何ができるか。知識と備えが大切です。

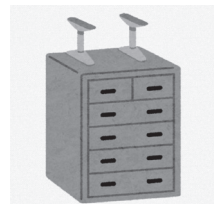
この9月、防災月間をきっかけに、家族と一緒に命を守る準備を始めましょう。

## 命を守る行動を — 地震・津波発生時、あなたと家族を守るために —

### 日頃の備え

#### ①揺れに備える～家の安全対策～

地震は突然やってきます。家具の固定や避難経路の確保は、けがや命に関わる大切な備えです。寝室や子ども部屋など、日常よく使う場所から対策を始めましょう。



#### ②最低限、3日分の備蓄を

ライフラインが止まっても困らないように、水・食料・トイレ用品などは最低3日分（できれば7日分）を用意。ローリングストックで、無理なく続けましょう。



### 事前の準備

指定緊急避難場所について ▶



#### ③避難場所と避難所、違いを知っておこう

避難「場所」=命を守る場所、避難「所」=一時的に過ごす場所。  
津波避難の標識表示も確認しておきましょう。



避難場所



避難所



津波避難場所



津波避難ビル

### 発災したら

#### ④強い揺れ⇒すぐ高い場所へ

揺れを感じたら、警報を待たずに避難！ 家族が気になっても、まずは自分が逃げるのが最優先。車ではなく徒歩で、必要なら荷物を減らしてでも迅速に移動しましょう。

### 巨大地震に備える警告信号 — 南海トラフ地震臨時情報とは？

南海トラフ沿いで異常な現象が観測された際や地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合等に発表される情報で、「巨大地震警戒」などのキーワードが付記されます。市からもキーワードに応じた防災対応を皆さまに呼びかけます。日頃から家庭の備えや避難行動を確認しておきましょう。



#### ⑤津波は一度で終わらない～繰り返し襲う波への備え～

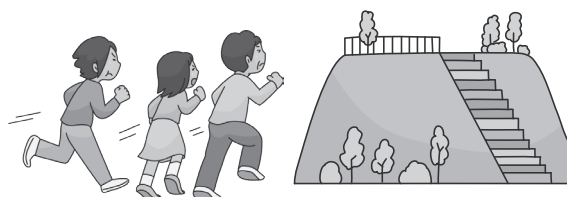
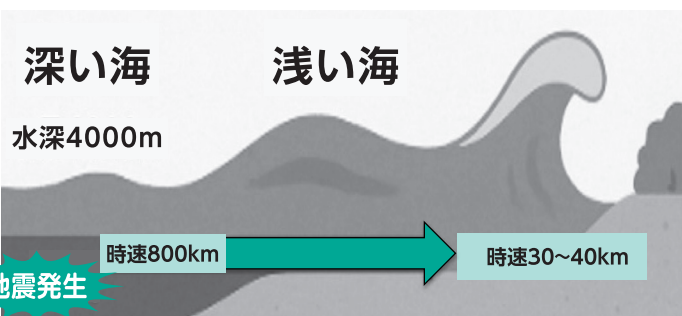
最初の波で油断しないで。次の波の方が大きいことも！  
「もう大丈夫」は危険。安全確認まで戻らず待機を。



## 津波の「高さ」と「速さ」 発生から到達までに知っておきたいこと

津波は、海が深いほど速く伝わり、逆に、水深が浅くなるほど速度が遅くなるため、津波が陸地に近づくにつれ、減速した波の前方部に後方部が追いつくことで、波は高くなります。

強い揺れを感じたら、すぐに高台などへ避難しましょう。



⚠ 遅くなくても、走って逃げ切れるものではありません。見えてから避難しても間に合わないのです。